



2024年2月21日
沖縄電力株式会社

「吉の浦・牧港ガスパイプライン」の完成および供用開始について

当社が天然ガスの普及拡大を目的に2021年度より整備（2020年6月10日プレスリリース）を進めて参りました「吉の浦・牧港ガスパイプライン（以下、吉牧パイプライン）」が本日完成し供用を開始いたしました。

「吉牧パイプライン」は、特定ガス導管事業^(※1)に供する当社初のガス導管設備として、吉の浦火力発電所（中城村）から北中城村、宜野湾市の西普天間地域をとおり、沖縄電力本店（浦添市）まで全長約15kmに敷設しております。

当該ガス導管の敷設により、これまで本島中部で天然ガスを利用するために必要であった、お客さま側でのサテライト設備の設置が不要となることから、幅広いお客さまが環境性^(※2)に優れた天然ガスをご利用いただくことが可能となり、エネルギー利用環境の向上につながることを期待されます。

将来的には、他エネルギー事業者との連携等をとおして、ルート上に設置している分岐点から、より広い範囲で天然ガスをご利用いただけるよう努めてまいります。

当社では、エネルギーの安定供給と保安の確保に努めるとともに、多様化するお客さまニーズに応えられる「総合エネルギー事業者」として、引き続きお客さま・地域社会の発展と、沖縄県全体の脱炭素化に貢献してまいります。

※1 特定ガス導管事業：一定規模（年間10万 m^3 ）以上の需要先へ、吉の浦火力（製造所）から特定の供給地点に向けてガスを託送する事業。

※2 天然ガスの環境性：石炭や石油に比べ燃焼時に二酸化炭素発生量が少ないため、地球温暖化抑制に寄与します。さらに、窒素酸化物の発生量が少なく、また硫黄酸化物やばいじんが発生しません。

以上

敷設工事にあたりましては、沿線にお住いのお客さまや道路を利用する皆さまのご理解ご協力を賜りましたこと、大変感謝いたします。なお、引き続きガス導管敷設後の舗装復旧工事を行っております。沿線のお客さまや道路をご利用の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

吉の浦・牧港ガスパイプラインの概要

距離：約 15 k m

区間：(中城村) 吉の浦火力発電所～

(北中城村) 渡口交差点～石平交差点～

(宜野湾市) 普天間交差点～伊佐交差点～国道 58 号バイパス～

(浦添市) 沖縄電力本店

仕様：300A (設計 4.00MPa) ※中圧で供用開始

